

# 「幸福」エピソード 入選作品

～あなたが鉄道・バスで「幸福」を感じたのはいつですか～

## 一般の部

入選

亡き主人と福井旅  
和歌山県在住 ペンネーム けいこけい

今から30年前亡き主人と福井に旅しました。あちらでは主にバスを利用しました。私は持病があるため足が不自由です。ですのでタクシーやバスに乗る時は人様より時間がかかります。あの時も運転手さんに申し訳ないなあと思いつつながら乗り込もうと思った時に運転手さんがマイクでゆつくり乗って下さいとお声をかけてくれました。私も嬉しくて嬉しくて涙が出そうになりました。主人も喜び二人でありがとうございますとハモってしまいました。あの時のニコニコ笑った主人の顔は今でも忘れられません。その後の旅は足は痛かったですがとても楽しくて本当にいい旅をさせて頂きました。思い出の写真は今も私の宝物です。いつか息子と福井を訪れ主人の話や運転手さんの話をしたいと思っています。

入選

福鉄見るのが僕の日課です  
越前市在住 ペンネーム いちご坊や

電車と踏切が大好き息子はもうすぐ3歳。初めて言えるようになった色は「あお」。福鉄を見ているうちに覚えたい。ライトを指差した後「めめ」と言って、あの電車には目が付いているよと教えてくれたキーボがお気に入り。最近「きーろ」も言えるようになったね。言葉が出てくるのが周りに比べてゆつくりだけど、毎日福鉄見ているうちに「あか」も「しろ」も言えるようになったから大丈夫。一緒にカラフルな車両たちを眺めている時間が、ママも好きだよ。次は何色が言えるようになるのかな？楽しみだね。

入選

あたたかい挨拶と笑顔  
永平寺町在住 ペンネーム まつくら

高校で毎日利用していた京福バスに、にこやかに挨拶してくださいとベテランの運転手さんがいました。朝はおはよう、夕方にはお疲れ様、降りる時には気をつけてね、と気持ちのいい笑顔で話しかけてくださり、京福バスに乗る度にその方だったらいいな、と思いつつながらバス停でバスを待っていました。高校から駅までのたった十五分ほどの短い時間だったのですが、思い出すと心が暖かくなり、今でも私の大切な思い出です。

入選

ぼくのだいすきなえちぜんてつどう  
志比南小学校 ペンネーム とつちん

ぼくは、でんしゃにのるのがだいすきです。まいしゅうどうよびのじゅくのあとに、えちぜんてつどうにのります。でんしゃにのりたいから、じゅくをがんばっています。きれいなアテンダントさんは、いつもぼくにあいさつしてくれます。ぼくが、えちてつこのカードをください、というとき、ぼくも持っているカードとはちがうしゅるいのカードをさがしてわたしてくれます。たのしいことがいっぱいあるえちぜんてつどうが、だいすきです。

入選

はじめてのタッチ  
社南小学校 ペンネーム ももりん

わたしは、一ねんせいになったのでおとうさんがきょうりゅうのイコカをプレゼントしてくれました。イコカをはじめてつかうひはドキドキしました。「アイ、シー、にピッとするとおかあさんにおしえてもらいました。のるときはまえのひと、おるときにはうんてんしゅさんのよこはここにピッとしました。そのときのバスのうんてんしゅさんが、にっこりわらってくれてとてもあんなしかったです。すこしおとなにならなかつてうれしかったです。

入選

素敵な笑顔の運転手さんへ  
武生東高等学校 ペンネーム 本谷 心楓

笑顔が素敵なバスの運転手さん。見つけたら手を振ってくれたり、毎回心温かい言葉をかけてくれてありがとうございます。今までバスに乗ったことがなかったので、バスで通学すると決まったとき緊張していました。休日明けの学校で朝テンションが上がらない時や緊張していた時、一人の若い男性のバスの運転手さんが、元気に「おはよう」と言ってくれてすごく嬉しかったです。テストの日は降りるときに「テスト頑張つて」と言ってくれたのでやる気が出ました。そのバスの運転手さんのお陰で毎日楽しく、登下校できてます。本当にありがとうございます。